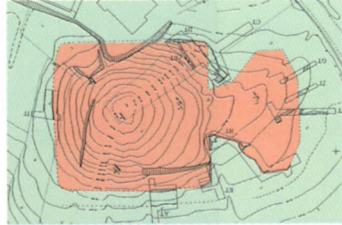


古墳時代の江南



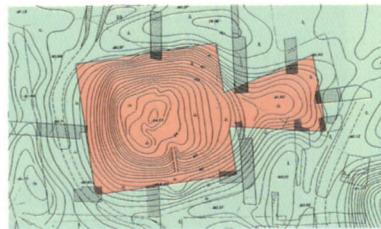
塩古墳群狸塚1号古墳



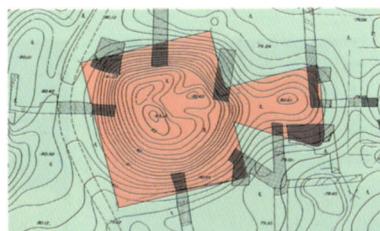
鷺山古墳(本庄市)



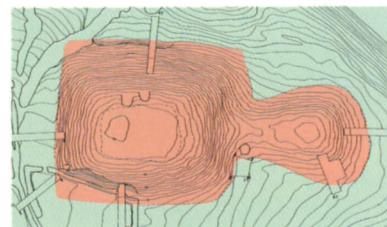
塩古墳群狸塚1号古墳 土器出土状態。



塩古墳群狸塚1号古墳



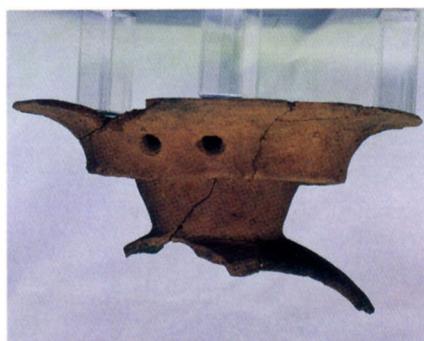
塩古墳群狸塚2号古墳



山の根古墳 (吉見町)



塩古墳群狸塚1号古墳
出土有段口縁壺形土器。

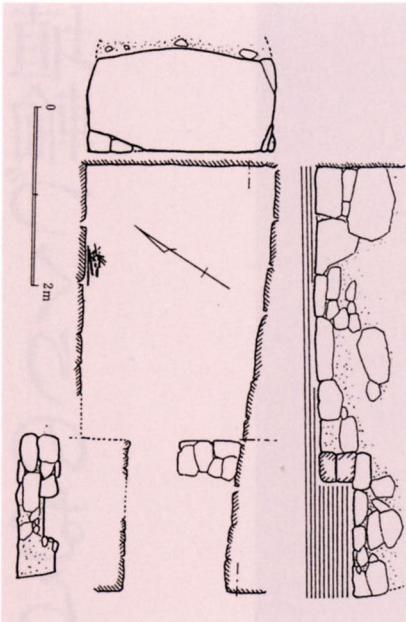


諏訪山29号古墳

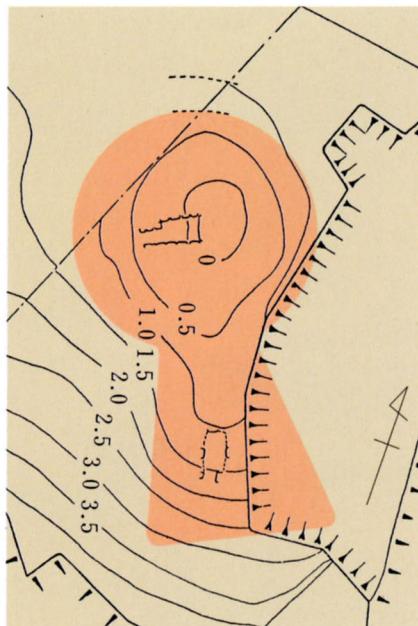
和田川の低地を臨む野原古墳群には前方後円墳が六世紀前半に築かれた。発掘調査により、横穴式石室を主体部に持ち埴輪を樹立していた。石室は小江川の山中から切出された凝灰岩と河原石を使い、鉄刀や玉などが出土した。墳丘や周溝からは、千代地区の埴輪窯で焼かれた円筒埴輪などのほか、「踊る埴輪」、「武人埴輪」が建てられていた。野原古墳の主は和田川流域の在地首長というだけでなく埴輪や石材の生産に関わることで、埼玉古墳群の大首長に結びついていたものと推定される。

市域の弥生時代から古墳時代への移行は断続がない。市域の南西部塩地区でも、千代地区の遺跡同様に谷津田の開発が進められており、その開発者集団が古墳時代初頭に築いた「方形周溝墓」という形式の墳墓群が塩地区の丘陵上にある。滑川の低地を臨む塩古墳群の狸塚支群は埼玉県で最初に古墳が造られたはじめた四世纪以降の鷺山古墳・山の根古墳などと同様「前方後方形」をしている。

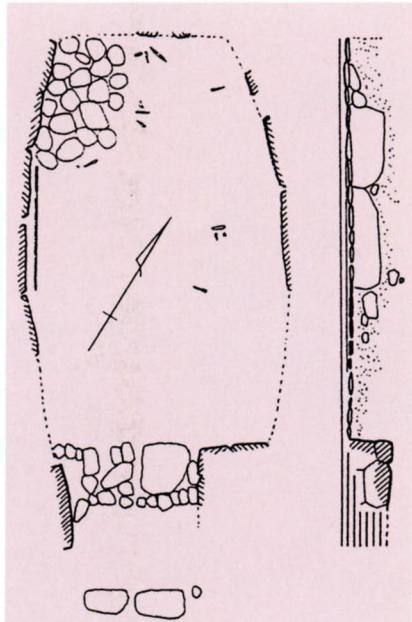
塩古墳群と野原古墳群



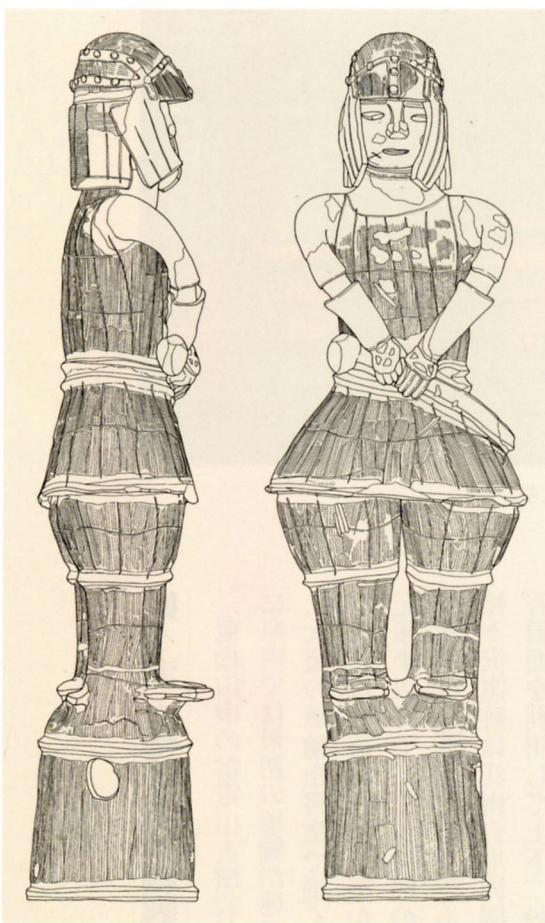
野原古墳後円部石室



野原古墳（前方後円墳）



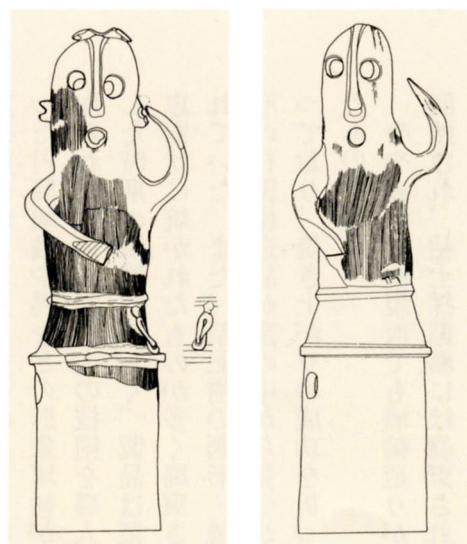
野原古墳前方部石室



武人埴輪 挂甲で武装した人物の埴輪。



野原古墳・塩古墳出土遺物 腕輪・切子玉・小玉・耳環・管玉。



熊谷市立江南文化財センター (住所：熊谷市千代329 電話：048-536-5062)

参考文献 江南町教育委員会 2005 『江南町のあゆみ』 江南町史普及版